

馬場章夫のチンチン電車で行こう！

～阪堺電車・上町線編～

全ルート

ルートA

(約 3.0 km)

ルートB

(約 3.2 km)

ルートC

(約 0.8 km)

ルートD

上町線・住吉公園駅
～天王寺駅前駅まで
乗車するルートです。
見どころガイド④で
ご紹介します。



馬場章夫のチンチン電車で行こう！ ～阪堺電車・上町線編～ 見どころガイド

はんかいでんしゃうえまちせん おおさかばしやてつどう

● 阪堺電車上町線と大阪馬車鉄道

現在の阪堺電車上町線は、馬が客車を引いて線路を走る「大阪馬車鉄道」から始まりました。
この馬車鉄道は、明治33年(1900)に天王寺西門前から東天下茶屋の間で開通しましたが、その10年後には電車に移行。そして大正10年(1921)からは、天王寺西門前～天王寺駅前間の間が、大阪市の市電として運行されるようになりました。現在その市電はなくなり、天王寺駅前駅～住吉公園駅までの4.6kmを11停留場(駅)で結ぶ、チンチン電車の俗称で親しまれている阪堺電車が運行されています。

お得なきっぷ情報！全線1日フリー乗車券『てくてくきっぷ』

今回のポッドウォークで大活躍する1日乗車券。上町線・阪堺線を当日限り、乗り降り自由のきっぷです。
スクラッチ式のカードになっており、乗車する年・月・日を1ヵ所ずつ削りましょう。
それぞれ2ヵ所以上削ると無効になるので、ご注意ください!!

- 販 天王寺駅前・南霞町・我孫子道・浜寺駅前の各乗車券発売所
恵美須町・天王寺駅前・住吉公園の各停留場、電車内 など
- 料 大人600円・小人300円
- 問 阪堺電気軌道株式会社 営業課
TEL:06-6671-3080 ※土・日曜・祝日を除く9時～17時50分



くまのかいどう

● 熊野街道



平安中期から鎌倉時代にかけて盛んであった熊野詣。
京の都から熊野(現在の和歌山県)までの約300kmの参詣道を熊野街道といいます。王朝貴族から庶民にいたるまで多くの人たちが、熊野を目指して出かけました。その様子をたとえて、「蟻の熊野詣」と呼んだそうです。その街道が上町線沿いにも残っています。
当時は、メインストリートにもなったほどの街道ですが、現在では風情ある和風の家や蔵なども点在しており、道と平行して走る上町線の電車の音がときおり聞こえてきて、どこか懐かしさを感じる風景が楽しめます。また、「熊野かいどう」の説明板や石道標もあるのでたどりながら歩いてみましょう

まつむしづか

① 松虫塚



樹齢約800年の大きな榎が目印となる松虫塚。
この塚の由来には、いくつかの伝説があり、その伝説の中には「法然上人を信じ、頼りにした後鳥羽院の女官・松虫が、法然上人が土佐の国へと流された事を悲しみ、この地に庵を結びました(結ぶ=建てて暮らすこと)。>というものや、「この場所を通りかかった旅人が、秋の野に鳴く松虫の声に魅せられて、そこにとどまり、はかなく草の露のように亡くなってしまいました。そこで、その友人が亡くなった彼をその地に埋めて、松虫塚と名付けました。」という世阿弥の謡曲に出てくるものなどがあります。

馬場章夫のチンチン電車で行こう！ ～阪堺電車・上町線編～ 見どころガイド

あべのせいめいじんじゃ ② 安倍晴明神社



▲安倍晴明像



▲清明の“産湯井”

平安時代の陰陽師、安倍晴明の生誕の地と伝えられている場所で、天文学や陰陽の術を学び、占いは神のごとしといわれた人物です。その優れた能力から、母親は信太(現:大阪府和泉市)の葛之葉稲荷の狐だという伝説もあるほどです。境内には、晴明の“産湯井”と伝える井戸もあります。

神社の創建は、晴明の没後2年目の寛弘4年(1007)になります。また、境内には、晴明にちなんで「占い相談事コーナー」もあるので、運勢を占ってみるのもオススメです。

(時) 境内無料

[占い相談事コーナー]

(料) 1件 2,000円

(時) 13時～17時

(休) 無休

あべおうじじんじゃ ③ 阿倍王子神社



仁徳天皇により創建され、平安時代初頭、天長3年(826)に弘法大師が、淳和天皇の直接の命令により、この神社にお参りし、疫難退散の祈祷をして功を成したとされています。

また、熊野街道に沿って四天王寺と住吉大社とのちょうど真ん中にあるため、熊野詣のときには、花山法皇や後鳥羽院、藤原定家なども訪れ、大阪市内で唯一現存する王子社として知られています。“王子社”とは、熊野の神さまである熊野権現のこどもの神さまを祀った所とされています。

各王子社では、休憩場としての役割もあり、歌会なども催されたそうです。

(時) 境内無料

(問) 阿倍王子神社 TEL:06-6622-2565

きたばたけあきいせんし ぼしよ・ぼしよ ④ 北畠顕家戦死の場所・墓所



武将・北畠顕家は、南北朝時代の南朝側の公家で重臣、北畠親房の息子で、延元3年(1338)、阿倍野の地で足利尊氏側の高師直と戦い戦死します。実際の戦没地は堺の石原津といわれていますが、北畠の地名があるこの場所で戦死したという説から、享保18年(1733)に京都の儒学者が、「大名塚」と呼ばれていたものを北畠顕家の墓と定めたそうです。

はりまづか こまちづか ⑤ 播磨塚と小町塚



播磨塚は南北朝の頃、住吉の合戦で、南朝方の楠木正行と戦って敗れた播磨の太守、赤松貞範が、戦死した将兵の遺骨を集めて納めた塚で、部下の冥福を祈ったと伝えられています。また小町塚は、小野小町の塚と古書に記されていますが、小野小町がこの地で死んだという記録がないことから、才色兼備な彼女にあやかりたいとの願いから造られた塚だといわれています。

現在、このふたつの塚は一緒にありますが、もともとは別個のものとして、この付近の畑の中にありました。道路整備によりこの場所に移されたとのことです。

馬場章夫のチンチン電車で行こう！
～阪堺電車・上町線編～
見どころガイド

まんたいいけこうえん
⑥ 万代池公園



▲古池龍王社

昭和15年に開園した万代池公園。その名前が示す通り、真ん中には大きな池「万代池」があります。

そしてこの“万代”の読み方には「まんたい」と「ばんだい」の2通りがあり、どちらでも正しいとされています。

この万代池、歴史ははっきりとしていませんが、上町台地にあった谷をせき止めてつくられたといわれています。またその名前の由来として、池に棲む魔物を鎮めるために、聖徳太子が曼荼羅經をあげたという伝説から、「まんだら経の池」が転じて「まんたい池＝万代池」と呼ぶようになったという説があり、この池の小島にある古池龍王社が、その伝説に由来した社とも伝えられています。

池の外周には桜が植えられており、地元では春の名所として知られています。ふだんは池の周りをウォーキングやジョギングする人も多く見られ、帝塚山の憩いの場になっています。

ほうせんじ
⑦ 宝泉寺



▲十三佛石仏

平安時代中期、天元5年(982)に仏教書「往生要集」の著書で名高い僧、恵心僧都により開基された寺院です。

ご本尊の一光十三佛は、恵心僧都が42歳の厄除けのために刻んだ仏像です。当時は念佛坊と称されていましたが、室町時代後期、元龜2年(1871)に宝泉上人が再興し、宝泉寺と改称されました。また、拝観できる石仏の十三佛は、室町時代後期に旧住吉村字石本(現:神ノ木駅付近)で掘り出された巨石を13体の石仏に刻んだものです。この世の平和とあの世での極楽往生を願いつくられたものです。1体ずつ表情が違うので、ぜひ見くらべてみましょう。

〔時〕 8時～17時

〔問〕 宝泉寺 TEL:06-6671-3487

いくねじんじゃ
⑧ 生根神社



生根神社は、もともと住吉大社と縁のある神社で、境内の社に天満宮があることから、別名「奥の天神さん」とも呼ばれていました。この天満宮は、徳川時代に「紅梅殿」と呼ばれ、住吉名所図絵に登場するほどの名所であったとか。現在、紅梅殿と呼ぶ集会所の西側の石垣は、土佐陣屋の石垣の一部を移したものです。この土佐陣屋とは、徳川幕府が住吉浜の海岸警備を土佐藩に命じた時に土佐の軍兵が駐留していたところのことをいいます。また、本殿と拝殿は豊臣秀吉の側室として知られる淀殿が、この神社を崇敬し造ったものです。境内の歴史ある建物などをゆっくりと見て、時代のなごりを探してみるのも楽しいですよ。

〔時〕 6時～17時

〔問〕 生根神社 TEL:06-6671-2964

馬場章夫のチンチン電車で行こう！
～阪堺電車・上町線編～
見どころガイド

すみよしだいしゃ
⑨ 住吉大社

“住吉さん=すみよっさん”で親しまれている住吉大社は、全国にある住吉神社の総本宮で、大阪を代表する神社。
昔から「一年の計は、住吉さんの初詣から…」といわれるほど、初詣は多くの人で賑わいます。そして、熊野詣に行く人は、必ず参拝していたといわれています。祭神は、住吉大神と総称される表筒男命・中筒男命・底筒男命の三神と神功皇后です。
お祓いや航海安全・和歌の道・産業育成などの守護があることで知られています。現在でも海上の守護神として、海運・造船関係者の信仰は厚く、“船霊の神”として、船内にお祀りされることが多いといわれています。
また、古典文学・源氏物語でも光源氏が住吉詣をする場面が描かれていたり、薩摩藩ゆかりの神社として篤姫が、京都・江戸へと行くときに立ち寄り、参拝したという記録も残っています。



▲ 第一本宮



▲ 第四本宮

【ご祭神】

第一本宮: 底筒男命 中筒男命
第二本宮: 中筒男命
第三本宮: 表筒男命
第四本宮: 神功皇后 息長足姫命

【時】 参 拝 4月～9月: 6時～17時
10月～3月: 6時30分～17時
【問】 授与所 9時～16時30分
住吉大社 TEL: 06-6672-0753



そりばし
● 反橋

最初に架けられたのは平安時代から室町時代といわれています。
現在のように人間が渡る橋ではなく、神様のみが渡る橋で、地上と天上の神様の国とをつなぐ架け橋として、虹にたとえられていたとも伝えられています。
木製の橋は、古くなると船大工たちによって、奉納もかねて架け替えられてきました。

※ 渡るときは、傾斜がキツイので、橋の欄干に手を添えて渡りましょう。

馬場章夫のチンチン電車で行こう！
～阪堺電車・上町線編～
見どころガイド

●住吉大社の建築様式

国宝に指定されている本殿の建築の特徴をはじめ、特殊な形をした住吉鳥居についてご紹介します。

<御本殿>



現在の御本殿は、文化7年(1810)に造られたもの。

4棟ある第一本宮から第四本宮は、神社建築史上最古の様式のひとつ。

いずれの建物も造りと大きさが同じです。

たん丹(=朱色)と白と黒を基調に彩られ、黄金色をした金具により、いっそう鮮やかな色彩美を誇っています。

また、御本殿の方角はすべて大阪湾の方向である西向き。

第一本宮から第三本宮まで縦並び、第四本宮が第三本宮の横に並び、住吉大社ならではの特徴ある並びになっています。

「三社の縦に進むはぎょりん魚鱗の備え、一社のひらくはかくよく鶴翼の構えあり、八陣はちじんの法をあらわす」とも言い伝えられ、まさに空から眺めると大海原をゆく船団のような配置になっています。



すみよしづくり

住吉造が特徴の御本殿には、主に3つの特徴があります。

ひわだぶき①「檜皮葺」の直線的な切妻造りの屋根。

書物を開いた様にも見えるといわれています。

②出入口は、妻入りといわれている屋根の両端が正面に向いています。
そして、建物の内部は回廊がなく、前後2室に分かれています。

※妻入り=屋根の端と直角に位置した、建物に平行な出入口。



③建物の色彩は、柱が朱塗りで板壁は白色のこふん胡粉塗り。

※胡粉=貝殻から造られる白色の粉。日本画などの画材にも用いられます。

<住吉鳥居>

鳥居も住吉大社ならではの特徴があります。

四角い柱の鳥居であるため、かくとりい角鳥居ともいいます。

四角い柱は古い様式では珍しく、各本殿と拝殿に建っている木造の朱塗りの鳥居が原型になっています。

また、貫ぬきの両端が柱より外に出ないのも特徴の一つです。

※貫ぬき=補強のために、柱等の垂直材間に通す水平材。

馬場章夫のチンチン電車で行こう！
～阪堺電車・上町線編～
見どころガイド

● 正式な参拝の仕方

普段、何気なく参拝している神社での作法をご存じでしょうか。
意外と知らない一般的な参拝の仕方、手順をご紹介します。

1. 鳥居～参道

鳥居の前では軽く会釈をしてから、気を引き締めて鳥居をくぐります。
鳥居から社殿までの参道では、両端を歩くようにしましょう。真ん中は、神様が通る道とされているからです。

てみすしゃ
2. 手水舎

ここで身体や心を洗い清めます。昔は水につかって清める禊^{みそぎ}を行っていましたが、今は手と口を洗うだけで、全身を清める代わりとしています。



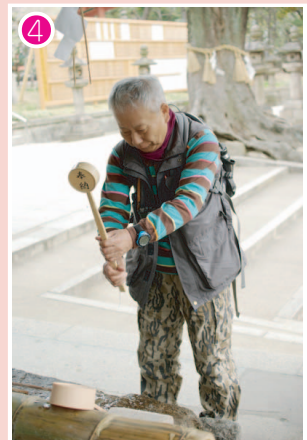
右手に柄杓^{ひしゃく}を持ち、水をくみ、左手を洗います。



左手に柄杓^{ひしゃく}を持ちかえ、次は右手をお洗います。



口をすすぐ時は、右手に柄杓^{ひしゃく}を持ち、左手の手のひらに水を受け、口に運びます。この時は、柄杓^{ひしゃく}を直接口に持っていかないように注意しましょう!!



両手で柄杓^{ひしゃく}を垂直に立て、え^えの部分を洗い、清めます。



てみすしゃ
住吉大社の手水舎の水は、
かわいらしいウサギの口から注がれています。
これは、じんぐうこうごう^{じんぐうこうごう}神功皇后がお祀りされた日が
卯の日であったことに由来しています。

馬場章夫のチンチン電車で行こう！

～阪堺電車・上町線編～

見どころガイド

3. 拝殿での参拝

住吉大社では、奥に位置する第一本宮から順番に、第二本宮・三本宮・第四本宮へと順番に参拝します。



神様への感謝を込めて、賽銭箱にお賽銭を入れます。
昔は、稲穂を奉納したため、「お初穂料」ともいいます。
金額は決まっていますが、十分ご縁がありますように...と、
縁起を担ぎ、15円を入れる人もいますとか。



鈴を3回鳴らします。

鈴の清らかな音で、自分の魂を祓い清めるためともいわれ、「鈴祓え」といわれています。

または、神様へ祈願を知らせるために鳴らすともいわれています。



二拝二拍手一拝

[二拝二拍手一拝]



2度、深くお辞儀を
しましょう。



2回、拍手をします。



真心を込めて願いを
祈ります。



最後にもう1度、深く
お辞儀をします。

※授与所にて、祈願の内容に合ったお守りなどを。祈願が叶えられたら、お礼参りも忘れずにしましょう。

馬場章夫のチンチン電車で行こう！
～阪堺電車・上町線編～
見どころガイド

⑩ 阪堺電車上町線・住吉公園駅～天王寺駅前駅



住吉大社の前の住吉交差点は、阪堺電車上町線と阪堺線が交差する場所。その上町線からの発着駅がこの住吉公園駅です。住吉公園駅入口で、駅名の表示された看板に注目してみましょう。“駅”という文字が、昔の表記“驛”になっています。

この駅舎は、大正2年(1913)7月2日に開業。ホームにある水槽は、戦時中に防火水槽として造られたものとか。レトロな雰囲気漂うホームです。そして、電車に乗って住吉公園駅から天王寺駅前駅までの区間、ゆっくり、のんびりと“地元を走るチンチン電車”を満喫してみてもいいでしょう。特に車両の中では、進行方向に向かって後方部分の位置がオススメ。運転席もじっくり観察でき、後ろに流れていく車窓からの風景も楽しめます。



阪堺電車で行われている**専門用語**の一部をご紹介します。
知れば知るほど、乗れば乗るほど、魅力あるチンチン電車ですよ！

公園:住吉公園駅のこと。

交差:住吉駅のこと。南北に走る阪堺電車阪堺線と交差しているため。

取り合い:松虫・北畠・帝塚山4丁目・住吉駅などの新設軌道と併用軌道の切りかわる点。

※新設:道路と隔離されて線路が引いてある区間。

※併用:道路に線路があり、車や自転車などが一緒に走っている区間のこと。

蛍:夜に、進行方向と逆側のヘッドランプが点いたままの電車のこと。
電車の後ろ(=おしり)が明るくなるから。

ほんとかよう

先斗町:現在では全部廃車になってしまった251形のこと。

もともと京都市電の電車で、先斗町あたりを走っていたことからこの呼び名がついたとか。

師匠:運転を教えてもらった先輩のこと。

へたる:電車が故障して動かなくなること。

祭り:7月30日・31日に行われる住吉大社の住吉祭りのこと。

馬場章夫のチンチン電車で行こう！

～阪堺電車・上町線編～

見どころガイド

上町線を走るチンチン電車。

車両の種類もたくさんあり、それぞれ番号が記されています。

例えば、モ161形の写真の電車には、『162』と記されています。これは、モ161形の2号車という意味になります。

車両のペインティングもバラエティに富んでおり、同じ形の車両でも深緑に彩られた趣のある色からカラフルな色まで様々で、楽しく見る事が出来ます。

ちなみに写真で紹介しているのは、この沿線でよく見かける電車です。走る電車を見るのも楽しいですよ！



▲モ161形



▲モ161形



▲モ161形とモ121形



▲モ501形



▲モ351形



▲モ601形



▲モ601形



▲モ601形